

生徒指導部通信

田名部高校定時制

第5号 令和6年12月
文責 生徒指導部 菊池 諭

令和6年度 第2回 避難訓練を実施しました。今号では教頭先生の講評をお伝えします。

不審者から、二手に分かれて避難しました



バリケード設置後、消灯した教室に隠れます



命を守る避難訓練（不審者対応）

講評 教頭 小山内 秀樹

11月8日（金）の避難訓練は職員玄関より不審者が侵入。それに気づいた代行員さんと口論になり、いきなり刃物で代行員さんを切りつける。騒ぎ声を聞いた年次担任が異常事態、緊急事態を把握して、迅速かつ冷静に生徒の皆さんを避難誘導して、皆さんの命を守ったという想定でした。

前回は地震発生後、津波が押し寄せてくるという想定で、自然災害から皆さんの命を守る避難訓練でしたが、今回は人、不審者から皆さんの命を守る訓練でした。

津波から身を守るためには、高台へ逃げるのが命を守る第一優先事項でしたが、今日の不審者対応では、どういった行動が自分の命を守るのに大切なことだったのでしょうか。今日の避難訓練を機に、実際に不審者が校内に入ってきたときに自分はどのような行動を取ればいいのか、よく考えてほしいと思います。今日は年次担任が皆さんに指示を出し、それに従って避難をしましたが、もし指示する先生がいない状況でそのようなことになったら、避難は自分で考え、自分の判断で行動しなくてはなりません。つまり、自分の命は自分で守るといったことが大切になってきます。そして、その際、最も大切なことは冷静になって状況を把握する事が重要になってきます。そしてできるだけ一人ではなく、集団で素早く、声を掛け合って不審者からより離れたところへ逃げるのが大切です。もし、不審者と対峙したときは助けを求めてください。

警視庁と東京都教育庁指導企画課によって発表された防犯標語「いかのおすし」は、自分の身を守るために大切な行動を示すものです。

いか…知らない人について「いか」ない

公園で見かけたことがある人や、優しくそうな人に声をかけられると、ついつい反応してしまうことがあります。不審者から「お母さんが事故に遭ったから、一緒に病院行こう」「一緒にお菓子を食べよう」など、困惑するようなことを言われるかもしれません。そんなときは騙されずに、断ることが大切です。

の…知らない人の車に「の」らない

どんなことがあっても、知らない人の車に乗ってはいけません。たとえ知っている人であっても、保護者の許可なく車に乗るのは避けましょう。また、知らない人の誘いに乗らないことも大切です。

3階選択教室に避難後、バリケードを設置



訓練終了後、みんなでバリケードを撤去しました



避難訓練（不審者侵入対策）を終えた後、教頭先生よりご講評をいただきました！

お…危険を感じたら「お」おきな声で叫ぶ

突然連れ去られそうになったり、しつこく付きまとわれたりした場合は、ためらわずに大きな声で助けを求めましょう。命の危険があるときは「恥ずかしいな」と思っても、ためらってはいけません。声を出すのが難しい場合もあるため、防犯ブザーを持ち歩くのもよいでしょう。

す…「す」ぐに逃げる

危険を感じたら、すぐに逃げましょう。どこに逃げればよいかを、具体的に把握しておくことも大切です。近くの交番や、“子ども110番の家”というステッカーが貼ってある場所は安心です。ほかにも、コンビニやスーパーなど、大人に助けを求められる場所に避難しましょう。

し…すぐ「し」らせる

怖いことや気になることがあれば、些細なことでも身近な人に知らせましょう。「写真を撮られた」「知らない人に話しかけられた」など、大人だとすぐに「怖い」と感じることで、子どもはなかなか異常に気づかない可能性があります。

刃物を持った不審者が学校に侵入する事件や、生徒に声をかける・触る・連れ去るなどといった恐ろしい事件は年々増えています。これは他人事ではなく、どこにでも起こり得る可能性がある話です。日常的に危機管理を行い、適切な対応方法をしっかり頭と体に入れておくことが大切です。

今日の避難訓練は皆真剣な顔で行っていました。不審者侵入は、起こってほしくない事件です。ですが、絶対起こらないとはいえません。だからこそ、この訓練をきっかけに日頃から用心して、命を守るためにどうすべきかを考えて、行動できる生活をしていってほしいと思います。

